

千里の風

NO. 8.

2013年度歴史教育者協議会
全国大会・大阪
大会速報「千里の風」
編集・発行：現地実行委員会

暑い熱い分科会討 議始まる

◇授業方法分科会

草分実践に感激！

三重の草分さんの「ユンナさんの『国』」の
実践報告に感激です。転入してきたユンナさ

んと子どもたちの関わりの中で、ブラジル、フィリピンそして、移民や戦争の学習を深め
ていった実践です。子どもたちが学ぼうとする切実さを創る力、学級を創る力が教師には
大切だと改めて感じさせてくれました。草分学級を参観したことがあるので、草分さんの
姿が目浮かぶようでした。 (愛知、男性)

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

◇高校分科会



もう一度スタート から考え直そう

もう一度スタートから考え直そう修学旅
行の取り組みについて参考になった。今
はなるべく手間のかからないように実施
される場合が、ほとんどになっているが、
もう一度スタートから考え直していけた
らいいと思った（かつては、いろいろな
取り組みををしていたと思う。20年以
上前）。 (以下略)

(岡山、男性、50代)

◇地域の掘り起こし分科会

足を使って資料を探す重要性

小学校の社会では、とりわけ地域に根ざした身近な資料が大切だと考えています。そう
いった資料を掘り起こすために、教員が足を使って資料を探すことが、いかに大切かとい
うことを学びました。

内容の濃さに圧倒されましたが、資料の収集・保存の仕方についてそれぞれのレポー
ターの方から、詳しくお聞きできたら、なお良かったと思いました。

(埼玉、女性、20代)

6本のレポートはそれぞれ地域に根ざしたもので、ほとんど知らないことばかりでした。



八幡の歴史カルタの取り組みは、歴史探訪の好きな方が集まって、すばらしい取り組みに発展していった、メンバーの知恵の集大成のような感じでした。子供たちが、楽しんでカルタ取りをする中で、自分の地域に愛着を感じていけるなあと思いました。

(京都、女性、40代)

◇日本前近代

教科書を教えるだけで、四苦八苦している私にとっては、非常にハイレベルなお話ばかりでとても勉強になりました(というより、お腹一杯で破裂しそうです)。

みなさん、すごく勉強されていて、かつ、それをぶつけあって磨いている様子を見て、まずは家に積みっぱなしの本を読んで、一生懸命勉強するところからやり直さなくてはと大反省しました。(略)

(和歌山、女性、20代)

歴史学の成果を踏まえ、 科学的に探求する

午前中、「日本古代史の教科書記述の検討」の討議中、加藤氏が「歴史学は古代史を研究する立場が大切。戦前の皇国史観的な古代史像を科学的に探求する情熱が、現代の研究者にあるのか？歴史教育から歴史学に対する問題提起をしていくべきではないか、史料に基づいて教材化する(生徒にやらせてみる)しかない」と発言された。一方、午後の加藤氏の発表では、「歴史学の研究成果を踏まえて、議論の発展をコーディネートしていく」といわれていた。



歴史学は情熱(感情)は大切であるが、歴史学の成果を踏まえて科学的に探求することがベースになるので、どう考えるべきかと思いながら参加していました。

(兵庫、男性、50代)



メール投稿受け付け

メールアドレス「sokuho2013@yahoo.co.jp」

(アドレスを間違えないようにして下さい)

大会参加者の方の御意見、御感想をメールで受け付けています。全体会、分科会、「地域に学ぶ集い」、その他(何でも)結構ですので、上記アドレスに投稿してください。

但し、このメールでの返信は一切行いません。またメールに記載された内容は、匿名で速報に掲載させていただきますので、御了承ください。